

柔道整復科

運動器・頭部

対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	宮本 功三			実務 経験	有	職種	柔道整復師				

授業概要

外傷を学ぶ上で欠かすことのできない人体の構造を理解するために必要な、ここでは主に頭蓋の基礎を中心に理解させていくことを目的としている。

到達目標

頭部の骨格系であれば骨とその部位の名称、関節部の運動と仕組み、関節における主要な靭帯とその機能について理解していくことを目標とする。筋系においても、その各部位の名称をはじめ起始・停止・作用を理解していくことを目標とする。

授業方法

教科書や模型等を使用して頭部の各部位の名称を適切な解剖学用語で理解する。頭部の構成、眼窩・鼻腔の構成頭蓋底の各孔を通過するもの等を理解する。骨格筋の名称、起始、停止、作用、支配神経を理解する。

成績評価方法

試験と課題を総合的に評価する。

履修上の注意

医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。社会の動きや学生の状況などを概説するので、自分でも情報を収集し起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

教科書教材

教科書（解剖学 -社団法人 全国柔道整復学校協会 監修-）に準拠する。

回数	授業計画
第1回	脳頭蓋の構成
第2回	顔面頭蓋の構成
第3回	頭蓋冠

柔道整復科

運動器・頭部

第4回	頭蓋底の内頭蓋底
第5回	頭蓋底の外頭蓋底
第6回	頭蓋前面
第7回	頭蓋側面
第8回	1回から7回の振り返り
第9回	頭蓋泉門
第10回	顎関節
第11回	頭部の筋・頭蓋表筋
第12回	眼、鼻、口、耳周囲の筋
第13回	咀嚼筋
第14回	9回から13回の振り返り
第15回	半期の総括